

エド スクライン パトリック ウィルソン ルーク エヴァンス アーロン イッカート 豊川 悦司 浅野 忠信 國村 隼 WITH マンディ ムーア WITH デニス クワイド and ウディ ハレルソン

勝者も、敗者も、海に全てを捧げた。



『インデペンデンス・デイ』『ディ・アフター・トゥモロー』
ローランド・エメリッヒ監督最新作

ミッドウェイ

日本の運命を変えた3日間

CENTROPOLIS ENTERTAINMENT PRESENTS IN ASSOCIATION WITH SHANGHAI RUI ENTERTAINMENT STARLIGHT CULTURE ENTERTAINMENT GROUP AN AGC STUDIOS PRODUCTION IN ASSOCIATION WITH STREET ENTERTAINMENT AND ENTERTAINMENT ONE
 A ROLAND EMMERICH FILM "MIDWAY" CASTING BY ADAM MOLE PRODUCED BY THOMAS WANDER & HAROLD KLOSER WRITTEN BY PETER G. TRAVERS DIRECTED BY STEPHAN TROLANSKY PRODUCED BY NICK JONES EDITED BY TOSHIYUKI KAWAHA EXECUTIVE PRODUCERS LUKE EVANS ARON EKHART YADAMBU ASANO LUIE KLENTANK JON KIMMURA DARREN CRISS KEELAN JOHNSON WITH MANDY MOULDER WITH DENNIS QUAD AND WOODY HARRELSON
 CASTING BY JOHN PAPADOURA, CSA EXECUTIVE PRODUCERS ADAM MOLE PRODUCED BY THOMAS WANDER & HAROLD KLOSER WRITTEN BY PETER G. TRAVERS DIRECTED BY STEPHAN TROLANSKY PRODUCED BY NICK JONES EDITED BY TOSHIYUKI KAWAHA EXECUTIVE PRODUCERS LUKE EVANS ARON EKHART YADAMBU ASANO LUIE KLENTANK JON KIMMURA DARREN CRISS KEELAN JOHNSON WITH MANDY MOULDER WITH DENNIS QUAD AND WOODY HARRELSON
 CASTING BY JOHN PAPADOURA, CSA EXECUTIVE PRODUCERS ADAM MOLE PRODUCED BY THOMAS WANDER & HAROLD KLOSER WRITTEN BY PETER G. TRAVERS DIRECTED BY STEPHAN TROLANSKY PRODUCED BY NICK JONES EDITED BY TOSHIYUKI KAWAHA EXECUTIVE PRODUCERS LUKE EVANS ARON EKHART YADAMBU ASANO LUIE KLENTANK JON KIMMURA DARREN CRISS KEELAN JOHNSON WITH MANDY MOULDER WITH DENNIS QUAD AND WOODY HARRELSON
 CASTING BY JOHN PAPADOURA, CSA EXECUTIVE PRODUCERS ADAM MOLE PRODUCED BY THOMAS WANDER & HAROLD KLOSER WRITTEN BY PETER G. TRAVERS DIRECTED BY STEPHAN TROLANSKY PRODUCED BY NICK JONES EDITED BY TOSHIYUKI KAWAHA EXECUTIVE PRODUCERS LUKE EVANS ARON EKHART YADAMBU ASANO LUIE KLENTANK JON KIMMURA DARREN CRISS KEELAN JOHNSON WITH MANDY MOULDER WITH DENNIS QUAD AND WOODY HARRELSON



AGC

ROULELLIAMS



STREET ENTERTAINMENT



Midway © 2019 Midway Island Productions, LLC All Rights Reserved.



midway-movie.jp

ド派手なアクション大作でありながら、驚くほど真摯に作られた映画だ。
あなたの予想を超えて、歴史的真相に忠実に寄り添っている。

— Little White Lies —



リアルな視覚効果と素晴らしい俳優たち。

『プライベート・ライアン』と

『インデペンデンス・デイ』が会った!

— Seattle Times —

日本もアメリカも大いなる勇気で戦った、
空中戦の没入感は圧倒的だ!

— Washington Post —

エメリッヒ監督が、恐ろしいまでに
歴史のディテールを見つめている。

— Time Out —

日本軍を客観的に描いた現代の
『トラ!トラ!トラ!』だ!

— Variety —

『インデペンデンス・デイ』の監督が、20年に及ぶリサーチを経て鮮明に描く、 〈日本の命運を決した3日間〉

1942年6月5日、ミッドウェイ海戦。真珠湾攻撃により優位に立った山本五十六率いる日本海軍と、劣勢の中、新たにアメリカ軍指揮官となったニミッツ大將が繰り広げる壮絶な3日間の激戦。

第二次世界大戦の、そして日本の運命を決した戦いには、両軍ともに、国を愛し、覚悟を持って戦った男たちがいた。

司令官たちの緊迫した頭脳戦、パイロットたちの壮絶な空中戦、彼らを船上から迎え撃つ決死の海上戦——何が、彼らの勝敗を分けたのか?

監督は、『インデペンデンス・デイ』のローランド・エメリッヒ。観客のド肝を抜く一大スペクタクル映像の第一人者が、20年に及ぶリサーチをもとに、臨場感溢れる映像と共に、敬意をもって史実を再現。山本五十六、チェスター・ニミッツをはじめとした実在の人物を演じるために、ウディ・ハレルソン、デニス・クエイド、豊川悦司、浅野忠信、國村隼など日米の実力派俳優が集結。

頻発する大災害、未知のウイルスによる世界的被害、戦争に代わりいくつもの危機に直面する現代の我々に、歴史は極限状況を生き抜く術を教えてくれる。



監督・製作: ローランド・エメリッヒ

出演: エド・スクライン / パトリック・ウィルソン / ルーク・エヴァンス /
アaron・エッカート / 豊川悦司 / 浅野忠信 / 國村隼 / マンディ・ムーア /
デニス・クエイド / ウディ・ハレルソン

2019年/アメリカ・中国・香港・カナダ / 英語・中国語・日本語 / カラー / シネマスコープ
上映時間: 2時間18分 / 5.1ch / 字幕翻訳: 松崎広幸 / 軍事監修: 白石光 配給: キノフィルムズ | 木下グループ
Midway © 2019 Midway Island Productions, LLC All Rights Reserved.



9月11日(金) 歴史は覚えている



オリジナル
パッケージ



発売中! ¥1,500 (当日一般¥1,900の値)
※一部劇場を除く

何が彼らの勝敗を分けたのか？

同じ様に国を愛し、等しく覚悟を持って戦った日米の男たち――



【太平洋艦隊司令長官】
ニミッツ大将(ウディ・ハレルソン)
真珠湾攻撃後の窮地に拔擢され、軍の士気高揚を図る不屈の指揮官。



【太平洋艦隊情報主任参謀】
レイトン少佐(パトリック・ウィルソン)
日本での赴任経験を活かして日本軍の作戦を分析するアメリカ軍の頭脳。



【第6爆撃機中隊長】
ベスト大尉(エド・スクライン)
真珠湾攻撃で亡くなった親友の仇討ちに燃えるカリスマパイロット。

VS



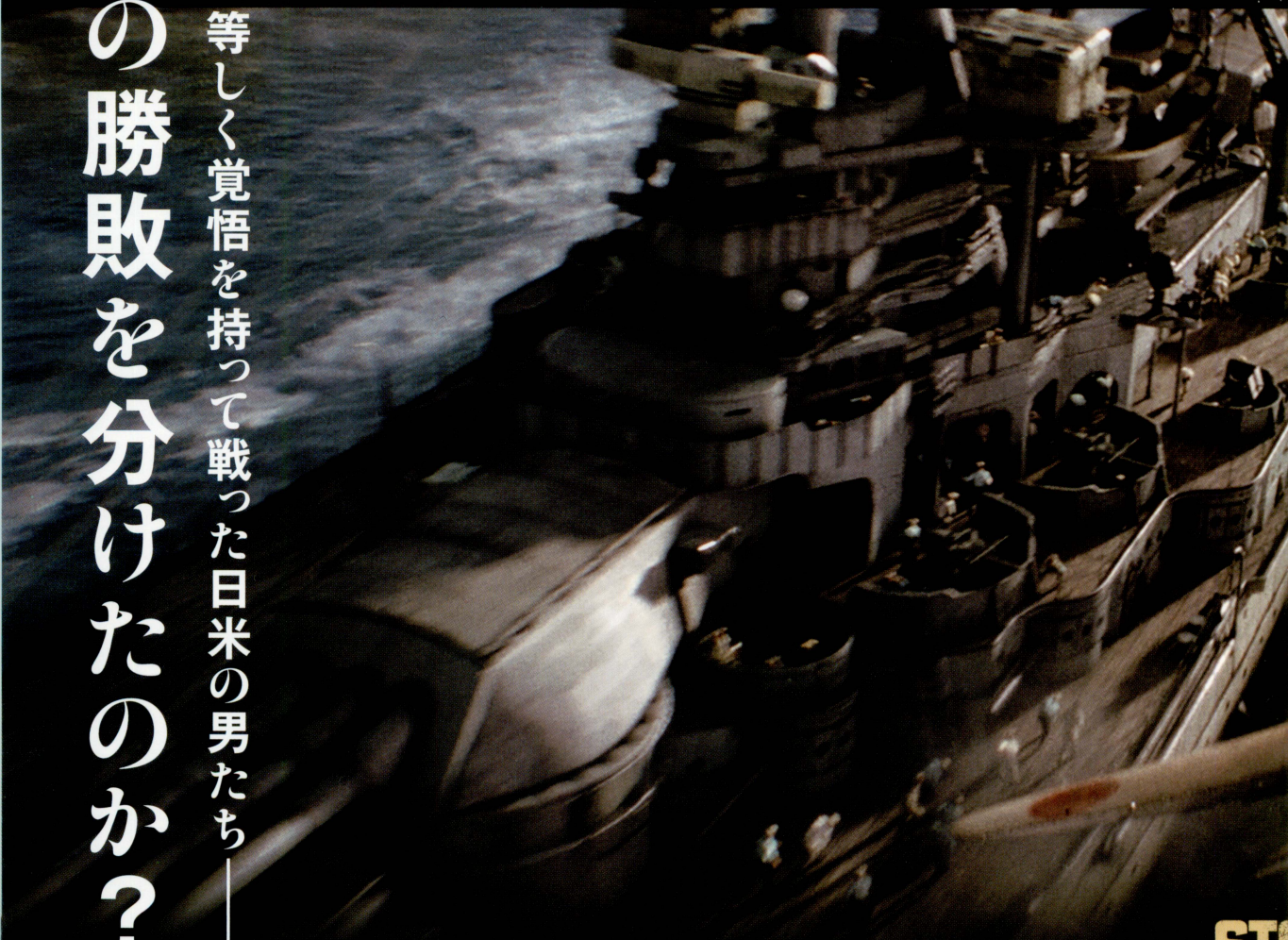
【連合艦隊司令長官】
山本五十六海軍大将(豊川悦司)
日米開戦に否定的だったが、時代の流れの中で、早期の戦争終結を狙い戦いの総指揮を執る。



【第一航空艦隊司令官】
南雲忠一中将(國村隼)
真珠湾攻撃で大戦果をあげた古参だが、保守的な指揮が一部の反感を招いている。



【第二航空戦隊司令官】
山口多聞少将(浅野忠信)
準備不足のミッドウェイ作戦には反対していた、日本海軍の次代を担う切れる者。



ドイツ人としての責任感があった。
多くの命が失われる戦争には勝者は無く、敗者しかない。
だからこそ、二度と起きてはならない戦いを描いたこの映画を
日米の海兵たちに捧げる内容にしたかった。

——ローランド・エメリッヒ——
(「ミッドウェイ」監督・製作)

STORY

1941年12月7日の日本軍による真珠湾への奇襲攻撃。戦争の早期終結を狙う山本五十六大将の命により、山口多聞や南雲忠一がアメリカ艦隊に攻撃を仕掛けたのだ。

大打撃を受けたアメリカ海軍は、新たな太平洋艦隊司令長官に、兵士の士気高揚に長けたチェスター・ニミッツを立てた。

両国の一歩も引かない攻防が始まる中、日本本土の爆撃に成功したアメリカ軍の脅威に焦る日本軍は、大戦力を投入した次なる戦いを計画する。

真珠湾の反省から、日本軍の暗号解読など情報戦に注力したアメリカ軍。情報部のレイトン少佐が、次の目的地をミッドウェイと分析、限られた全戦力を集中した逆襲に勝負を賭ける。

遂に、アメリカ軍のカリスマパイロット、ディック率いる爆撃機が出撃。空母、軍艦、潜水艦、戦闘機など、あらゆる近代兵器を駆使した壮絶な激突へのカウントダウンが始まった――。

ミッドウェイ海戦とは？

1942年6月4日(日本時間6月5日)ハワイ諸島、ミッドウェイ島付近で起きた日米の海戦。同島攻略をめざす日本海軍をアメリカ海軍が迎え撃つ形で発生し、日本海軍機動部隊とアメリカ海軍機動部隊および同島基地航空部隊との航空戦、艦隊戦の結果、日本海軍は投入した空母4隻とその搭載機約290機の全てを喪失。日本は開戦以来初の大敗を喫することとなり、その後の第二次世界大戦の行方を大きく決定づけた。

